

「歌詞クイズの解答」

「日の丸の旗」 (明治四十四年)

- 一、白地に 赤く
日の丸 染めて
ああ 美しい
日本の 旗は
- 二、朝日の 昇る
いきおい 見せて
ああ いさましい
日本の 旗は

一新、さくら さくら

野山も 里も
見渡す 限り
かすみか 雲か
朝日に 匂う
さくら さくら
花盛り

「うみ」 (昭和十六年)

一、うみは 広いな
大きいな
月が ぼるし
日が ぼるし

二、うみは 大波

青い波
ゆれて どこまで
つづくやら

三、うみに お船を
うかばし て
行つて みたいな
よその 国

「春よ来い」 (大正十二年)

- 一、春よ来い 早く来い
歩き始めた 早く来い
赤い鼻緒の じよいちゃん
おんもへ出たいと 待っている
- 二、春よ来い 早く来い
お家の前の 桃の木
つぼみもみんと ふくらんで
はよ咲きたいと 待っている

「われは海の子」 (明治四十三年)

一、われは海の子 白波の
さわぐ磯辺の子 松原に
煙たなびく とまやこそ
我が懐かしき 住みななれ

「さくら」 (明治二十一年)

- 一、旧、さくら さくら
弥生の空は さくら
見渡すかき 雲かり
かすみかき 雲かり
匂いぞいさ ぎるや
いざいざいざ
見に行かん ぎるや

「案山子」 (かかし) (明治四十四年)

一、山田の中の 案山子
一本足の 案山子
天気の 案山子
蓑笠の 案山子
朝から 案山子
たけなわ 案山子
歩けな 案山子
山田の 案山子

「あめふり」 (大正十四年)

一、 あめのあめ ふれふれ 母さんが
ピンの目で おむれ 母さんが
ランランラン チカイッ プレッシュな

二、 かけましょ かばんを 母さんの
あとからよ こゆこを ねがなる
ランランラン チヤッ プチャッ プ

三、 あらあら あの子は 泣いて ぬれだ
柳のねかたで 泣いて いる
ランランラン チヤッ プチャッ プ

四、 母さん 僕のを かしましよか
きみきみ このかさ したまか
ランランラン チヤッ プチャッ プ

五、 僕なら 蛇の目だ 母さんの
大きな蛇の目には 母さんの
ランランラン チヤッ プチャッ プ

「赤い靴」 (大正十年)

一、 赤い靴は いたれた 女の子
異人さんにつれられて

二、 横浜の波止場から 船に乗って
異人さんにつれられて

三、 今では青い目になつちやて
異人さんの お国に

四、 赤い靴 見るたびに 考える
異人さんに 会うたびに

「かもめの水兵さん」 (昭和十二年)

一、 かもめの水兵さん ならんだ水兵さん
白い帽子 白いシャツ 白い服
波にチャップチャップ つかんでる

二、 かもめの水兵さん かけあし水兵さん
波をチャップチャップ こえてゆく

三、 かもめの水兵さん ずぶぬれ水兵さん
波でチャップチャップ おせんたく

四、 かもめの水兵さん なかよし水兵さん
波に帽子 白いシャツ 白い服
チャップチャップ ユレている

「虫のこえ」 (明治四十三年)

一、 あれ松虫が 鳴いている
チンチロリン 鳴き出した
あれ鈴虫も 鳴き出した
リンリンリン

ああ おもしろい 鳴き通す
秋の夜長を 鳴き通す
ああ おもしろい 虫のこえ

二、 キリキリキリキリ きりぎりす
ガチャガチャガチャ ぐつわ虫
あとから馬おチャおチャ
チヨンチヨン チヨンチヨン

スイトチヨン
秋の夜長を 鳴き通す
ああ おもしろい 虫のこえ

「雨」 (大正七年)

一、 雨がふります 雨が降る
遊びにゆきたし 傘はなし
緒が切れた かっこも

二、 雨がふります 雨が降る
いやでもお家で 遊びましょう
千代紙折りましょう

「紅葉」(もみじ) (明治四十四年)

一、 秋の夕日に
照る山もみじ
濃いろもみじ
数あいろもみじ
松をやる中にも
かえやいろどるは
山のでふもとは
すそのよう